

臨床美術士養成講座 5級取得コース 開講のご案内

美術の経験の有無にかかわらず、臨床美術の
エッセンスを短期間で学び、基本画材となる
「オイルパステル」を使ったアートプログラム
を実践できる力が身につきます。



幼稚園・小学校教諭、保育士、医療保育士、
福祉関連の資格をお持ちの方や学校や施設で働
いている方、地域で子どもや高齢者へのボラン
ティア等で活躍されている方、また、そのよう
な活動をお考えの方向けのコースです。

講座日程 ◆ 全5日間 (9:30~16:50)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
1/30 (土)	2/6 (土)	2/13 (土)	2/20 (土)	2/27 (土)

受講科目 ◆

- 臨床美術/ 基幹 I
- 存在論的人間観
- 臨床美術入門 I
- 臨床美術実践の基礎
- 臨床美術コミュニケーション I

定員 ◆ 18名

会場 ◆ 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

◆ アクセス ◆

● JRご利用の場合

JR仙台駅東口から宮城野通沿い（北側）
すぐの茶色の7階建てビル。
西口（中央改札口側）からは徒歩約5分。

● バスご利用の場合

仙台駅前下車後、東西地下自由通路
（仙台駅仙石線東口方面）、東側1番
出入口から地上に出るすぐ。
または、2階東西自由通路で東口へ、
BiVi仙台駅東口ビル・タクシー乗り場
付近から横断歩道を渡るか、東口高速
バスターミナル側へ降りてロッセリア
前横断歩道渡ってすぐ。



受講料 ◆ 167,240円（税込）

※2回、または3回の分割支払いも可能です。
詳細は別紙をご確認ください。

申込締切 ◆ 平成 28年 1月 20日（水）

※ご不明な点などございましたら、お気軽にお問合せください。

料金後納
郵便

ゆうメール

5級 臨床美術士養成講座
取得コース 近日開講！

単に絵を描くのではなく、
周囲とのコミュニケーションと
ひとつひとつのプロセスを
大切にしながら
外に向かう関心を引き出す。

それを生きる意欲へとつなげていく。

豊かな生き方を創造する。

それが臨床美術。

【お申込み・お問合せ】



東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター
予防福祉健康増進推進室

TEL 022-208-7790

FAX 022-208-7791

Mail info@tfu-ac.net

仙台
元気塾

臨床美術プログラム：青首大根のちぎり絵

〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘6-149
東北福祉大学 雄翔館1階

〔受付時間〕月一土（日・祝日はお休み）
9:00~17:30

WEB

仙台元気塾

検索



2月9日(土)巨理町中央公民館において、みやぎのあられ株式会社が東京スカイツリーで販売する商品パッケージ（掛け紙）の原画を描く復興支援イベントで臨床美術のワークショップをおこないました。参加者は60名を超える大入り満員！！熱気が感じられるものとなりました。



この企画打合せの際、資料の中にあつた写真に目が留まりました。その写真は「緑にはこんなにも多くの色彩があるのか」と感動するほど、幾重にも重なる美しい田園が広がり、その先には、ゆったりと水をたたえた穏やかな島の海の湾が悠々と一望できる巨理町の風景でした。私は、この写真から目を離せず、しばし、見入っておりました。

当初の企画では、「多くの方に巨理町の風景を描いてもらう」というものでした。

写真にあるこんなにも素晴らしい巨理の風景。「この写真を生かしたい」という思いをもとに、共同制作「モザイク画を描こう！」を実施することになりました。



当日は本当に多くの巨理町民に集まっていたきました。セッションでは、子どもから大人まで世代を越え、線やタッチ、色合いといった純粋な表現要素を時間の許す限り楽しみ、その作品を一枚、一枚、繋ぎ合わせる…。不思議なことに絶妙な調和の中、独創的な一枚の作品が姿を現しました。



臨床美術士は活躍しています

養成講座を修了した臨床美術士は、教育・福祉・医療・地域など、全国のさまざまな場で活躍しています。

住居型有料老人ホーム ギャラリー杜の音【臨床美術教室】

ギャラリー杜の音では、ホーム入居者やデイサービス利用者に対して、定期的に臨床美術を実施しています。

4月の「臨床美術教室」は全6回。東北福祉大学 予防福祉健康増進推進室 臨床美術士の菅原布美子が、講座修了生のボランティアさんと共に活動してきました。今回は、「ドリッピング技法」を使った抽象的な絵画制作を楽しんでいただきました。



技法が生み出す思いもよらない形に触発されながら、オイルパステルで着色していきます。黒い紙に描くのも新鮮！！使い慣れているオイルパステルの色合いも、普段とはまた違った色合いに見えてきます。教室終了後も作品を前に会話が弾みます。輝くような色彩のコントラストが印象的な作品が完成しました。



この他にも多数掲載中！
臨床美術専門情報サイト
【臨床美術.Com】⇒



地域での活動・実践

青木道子さん



夢中に描いた作品の魅力を伝えたくて・・・

緊張しながらも夢中に描いた作品が、その時の『満足』『不満足』に関わらず、見返すたびに良い思い出になることを多くの人に伝えたくて、4級臨床美術士の講座を受講、資格を取得したあと、せんだんの丘でのボランティアに参加させてもらうことにしました。

伝えることの難しさを実感

初めてボランティアに参加したとき、動き方にぎこちなさがあったのはもちろん、制作を終えてからの作品鑑賞会で、感じたことを言葉にして伝えることの大切さと難しさを感じました。参加者の意図に沿わない言葉をかけてしまっただけではないか…と、どうしてもタイミングを逃してしまうことが多くありました。

臨床美術のアートサロンを立ち上げて鑑賞会が楽しみに

現在はボランティアを継続しながら、自分自身の勉強も兼ねて、我が家で実践をしています。参加者として応じてくれたのは母と伯母でした。サロンにしたのは、アートだけでなく、料理や日常生活の情報も伝えていきたいと考えたからでした。

サロンでの初回、予定通りに進めようと、気負いと緊張でコチコチになっていた私の出鼻をくじいたのは、『まずはお茶を一杯ちょうだい。』という伯母の言葉。気負いすぎた私を一気に引き戻してくれた一言でした。このことから我が家のアートサロンは一杯のお茶から始まるんです。

2人が身内であることもあり、『あら、あんた上手なこと』『その色いいね』と褒めあいながら競い合っています。姉妹なので似ているなと思うところもあるのですが、色彩感覚に違いがあったり、今では鑑賞会が私の楽しみになりました。

参加者と一緒に楽しみながら・・・

季節にあった作品を選んだり、楽しんで制作してもらるように準備したり、参考作品を制作することも私の楽しみになっています。これからもアートサロンでの活動を通して、参加者と一緒に良い思い出をつくらせていけたらと思います。

資格取得者の声

臨床美術のプログラムを実践する、臨床美術士は、美術の経験に関わらず、どなたでもチャレンジすることができる資格です。



デイサービスで活躍

菅原布美子さん



自分にも何か出来ることは無いかと・・・

家族の介護をきっかけに自分にも何か出来ることは無いかと考えていたとき、新聞記事で臨床美術の存在を知りました。芸術療法や介護について関心があったので説明会に参加したところクリニカルアートの持つ力の大きさを実感することができ、受講を決めました。

「目からうろこ」

絵画・彫刻・工芸など芸術全般を網羅した実践、共感し認め合う肯定的人間観に根ざした理念やコミュニケーション法など短期間に非常に密度のある内容でした。美術経験の有無や年齢・立場を問わず、受講生の誰もが時を忘れて夢中になっていました。

いくつになっても新しい自分に出会うことができる・・・

現在、ギャラリー杜の音のデイサービス内で臨床美術の教室を担当しています。こちらでは、その日、受けたいサービスを利用者自身が選ぶことができ、多様なニーズに対応できるシステムになっています。教室には、毎回定員を超える参加があり、楽しみながら熱心に取り組む姿や完成作品を前にお互いの作品の良い所を認め合う姿など制作や作品を介して様々な係わりが生まれています。

「芸術」と聞くと特別な人のものというイメージがありますが臨床美術は違います。誰もが等しく表現を楽しむことができ、まだ見ぬ自分を発見することができます。いくつになっても新しい自分に出会うことができる・・・。とても素敵なことだと思います。

クリニカルアートがもっと身近なものに！！

今後も、多くの施設や地域社会で臨床美術が実施され、ひとりでも多くの方にその魅力を感じていただけるお手伝いができればと考えています。